

課題から創出した新たな社会資源

① わんわんパトロール事業 平成31年3月7日～スタート

～あなたとわんこの目が子どもたちを守ります～

- 1.目的 千代田地区の子ども達の見守りを軸とし、子ども達と住民の方々との交流を通じたまちづくり活動です。
- 2.課題 小・中学校の登下校を見守る、スクールガードボランティアの成り手不足
- 3.参考とアイデア 東京都目黒区と三鷹市の取組みを参考。
 - ①千代田地区が佐倉市全体と比べ、人口に対する犬の保有割合が高いため、取組みやすい活動ではないかと考えました。 佐倉市：5.68% 千代田地区7.06% (H30年4月調査)
 - ②住民の皆さんが日常生活のリズムに沿って、活動できるように考えました。(敢えてパトロール活動の時間を設けるという負担感を無くしました。)
 - ③子ども達とコミュニケーションを図る上でも犬がいると気持ちが和むため、子ども達の登下校時を意識してお散歩いただくことで見守り活動に繋がる取り組みとなっています。(子ども達の生活に関心を持っていただく)
 - ④見守り活動と共に通学路の危険箇所を発見し、市に情報提供もしていきます。



年1回実施される千代田地区青少年健全育成住民会議主催の「千代田ふれあい祭り」において、身に着きたいグッズの人気投票を実施し、「缶バッチ」が1位になりました。

現在、缶バッチの費用が不足しており、協賛金を募集しております。活動に賛同していただける方、募金をよろしく願いいたします。

缶バッチイメージ



- 4.こだわり ①本活動をよりこの地域に定着させていきたいと考えています。
 - ②県獣医師会と県警で実施している「わんわんパトロール」運動は、動物病院での登録ですが、私達は、前述したように千代田地区の課題解決を目的に千代田地区の子ども達の見守りを軸とした千代田地区住民による「まちづくりの活動」として実施しております。活動内容も子ども達の登下校時の見守りだけでなく、認知症高齢者の発見等々にも広がりをもつまちづくり活動と位置付けています
- 5.連携 臼井・千代田地区こども110番の家の会の方々にもご協力を呼び掛けております。

② チャイルドシートの貸出事業 令和元年5月～スタート

- 1.目的 困った時に借りられる場があるという安心感がある、地域の支え合い活動「外に出られない方への支援」
- 2.課題 なかなか外出できない。自宅の車をご主人が使用し、チャイルドシートが使用できない、急な送迎を祖父母に依頼する際に必要、帰省の折に必要という声がありました。
- 3.ニーズ調査 平成28年に認定こども園吉見光の子の保護者及び「千代田ふれあい祭り」にて住民の皆様へニーズ調査を実施し、16%の方から利用したいという声をいただきました。安全面・衛生面が気になるという声がありました。
- 4.こだわり アンケート実施結果を反映し、チャイルドシートを安全に使用していただくために、平成29年の「千代田ふれあい祭り」では、チャイルドシートの安全な取り付け方やチャイルドシートの耐久年数を知る機会として、TOYOTAさんのご協力により試乗車をお借りし、「チャイルドシートの安全な取り付け方講習」を実施致しました。耐久年数を把握しているかのアンケートも実施しました。(8名中2名が把握していました。)



平成31年1月に市社協さんより幼児型チャイルドシートのご寄付をいただきましたので、1日100円で貸出実施中です。

③ 千代田地区子育て支援の輪 地域ボランティアセンター機能 (平成28年度～)

- 1.目的 千代田地区にお住まいの方々の多彩な経験や資格を、千代田地区の住民の皆さんの為に活かしていただく
- 2.課題 海外転入者の日本語習得の為に学習ボランティア不足。ペルシャ語を話せる人材が少ない。
- 3.アイデア 千代田地区には特技・資格・多彩な才能を持つ方が多い(アンケート実施結果)
- 4.連携 佐倉市社会福祉協議会へのダブル登録可能。市社協へ登録するとボランティア保険へ加入でき、他地区のボランティア情報も入ってきます。

本団体の活動の一員として子育てを軸としたまちづくり活動にご協力をお願いいたします!